

【建コン協北陸支部の技術部会活動】



石川工業高等専門学校で建設コンサルタントの仕事について説明を行いました。

実施日：令和2年11月4日（水）14:50～16:00

開催場所：石川工業高等専門学校 視聴覚室

参加者数：環境都市工学科の4年生 42人（その内女子18名）

説明者：（一社）建設コンサルタント協会北陸支部

技術部会道路委員会 委員 藤本 勇一

委員 木下 裕康

説明の流れは下記のとおりです。

- ①説明者の自己紹介
- ②建コンPRビデオ動画
- ③建コンPRIDE PPT説明
- ④藤本、木下の入社から今日までの経験談、事例説明
- ⑤質疑応答、アンケート記載

今年はコロナ対策として広い教室である視聴覚室にてマスク着用で実施しました。説明者は自己紹介の後、「建コンPRIDE」パンフレットに沿った建設コンサルタント業界の説明と説明者自身の経験業務と体験談についてお話ししました。

今年の4年生は、女子が約半数の18名と多く、対面授業になって1ヶ月あまりで、とても良い機会だと言われました。コロナ禍であり業界の説明は皆無とのことで、建設コンサルタントのこともよく理解できていない学生が多く見受けられました。しかしながら説明後の質疑応答では、「建コン業界はコロナの影響があるか」や「大学生との差を問う」質問が出るなど現実的な質問があったほか、アンケート結果では、「高専卒でもキャリアアップできると分かった」、「自分の立場、将来について考える良い機会だった」、「コンサルタントは多くの仕事に関わり、とても重要な役割をしていることが分かった」などの意見が多く、「女性は結婚・産後も仕事を続けていますか」など建設コンサルタントの仕事に興味を持ってくれたことで、今回の業界PRで理解ができ、興味を持った学生が多かったことがわかりました。

石川高専の説明会に協力していただいた富田教授に感謝するとともに、多くの学生が建設コンサルタントの門を叩いてくれることを期待しております。

